



薬剤部

～情報～

2021年12月



採用薬品

ルムジェブ注ミリオペン

抗糖尿病剤

日本イーライリリー



【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】通常、成人では1回2～20単位を毎食開始時に皮下注射するが、必要な場合は食事開始後の投与とすることもできる。ときに投与回数を増やしたり、持続型インスリン製剤と併用したりすることがある。

投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては通常1日4～100単位である。

【副】添付文書参照

ヒューマログ注ミリオペンからルムジェブ注ミリオペンへの院内採用薬切り替えを予定しています



11月の採用薬品（院外処方専用薬品）

スミスリンローション5%

駆虫剤

クラシエ製薬



【効】疥癬

【用】通常、1週間隔で、1回1本（30g）を頸部以下（頸部から足底まで）の皮膚に塗布し、塗布後12時間以上経過した後に入浴、シャワー等で洗浄、除去する。

【副】添付文書参照

採用メーカー変更薬品

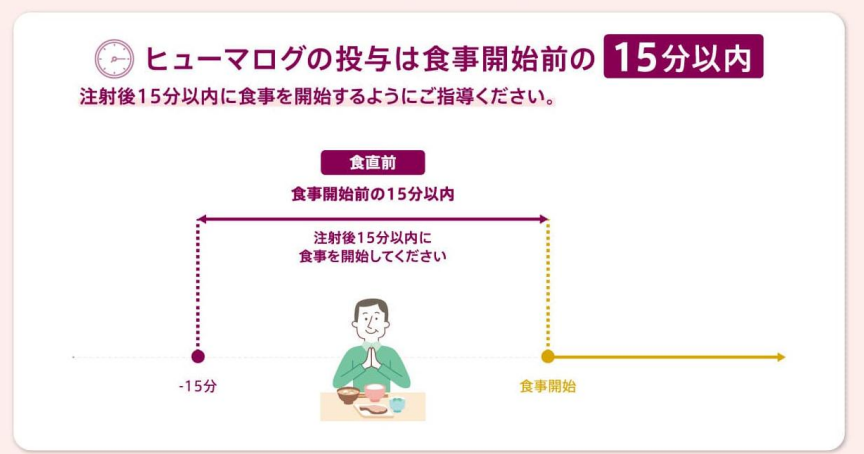
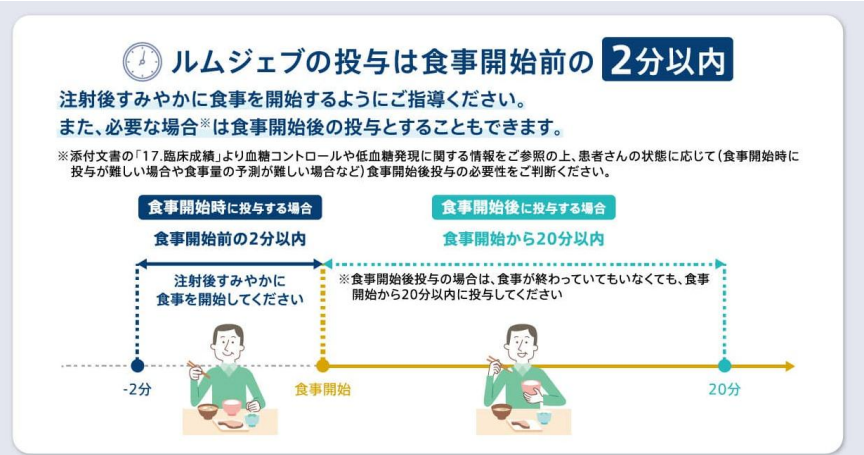
ヒアルロン酸Na点眼液0.1%「ファイザー」 → 「トーワ」

採用区分変更薬品

ソランタール錠 常備薬品 → 注文薬品
エカベトNa顆粒66.7%「サイ」 院外処方専用薬品 → 削除薬品(販売中止)

★ルムジェブ注ミリオペンとヒューマログ注ミリオペンの違い

ルムジェブ注はヒューマログ注の成分に添加物として、トレプロスチニルナトリウムとクエン酸ナトリウムを加えることで、投与初期の吸収を早め血糖降下作用の発現をより早めた製剤です。そのため、投与タイミングに違いがあります。



参考：日本イーライリリー株式会社、インスリン製剤注入器 服薬指導サポート、ルムジェブ 医療関係者向け情報サイト、2021-06-11。
<https://www.diabetes.co.jp/assets/pdf/pp-ur-jp-0898.pdf>